

【糖尿病】

総合評価

A

<評価基準>
A：達成している B：概ね達成している

C：やや達成が遅れている D：達成が遅れている

－：その他

○ 課題と取組

課題		取組	
課題１	糖尿病・メタボリックシンドロームに関する普及啓発	取組1	糖尿病・メタボリックシンドロームに関するより効果的な普及啓発の実施
課題２	糖尿病の発症・重症化予防	取組２	糖尿病の発症・重症化予防に向けた取組の推進
課題３	予防から治療までの医療連携	取組３	予防から治療までの医療連携の強化
課題３	地域連携に係る実効性のある取組	取組４	糖尿病地域連携体制の強化

○ 各指標の達成状況

取組	指標名	策定時	目標値	実績	達成状況	出典
				１年目		
取組１ 取組２	糖尿病による新規透析導入率（人口１０万対）	１１．０人 （令和３年）	減らす	９．２人 （令和５年）	A	一般社団法人 日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」 東京都総務局「人口推計」
取組１ 取組２	HbA1C 8.0%以上の者の割合（40～74歳）	男性１．８８％ 女性０．６６％ （令和２年度）	減らす	男性１．６４％ 女性０．５６％ （令和４年度）	男性 A 女性 A	厚生労働省「NDBオープンデータ」
取組１ 取組２	メタボリックシンドローム該当者の割合（40～74歳）	１５．１％ （令和３年度）	減らす	１５．０％ （令和５年度）	B	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」
取組１ 取組２	メタボリックシンドローム予備群の割合（40～74歳）	１２．３％ （令和３年度）	減らす	１２．０％ （令和５年度）	B	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」
取組１ 取組２	特定健康診査実施率	６５．４％ （令和３年度）	増やす （７０％以上）	７２．９％ （令和４年度）	A	厚生労働省「レセプト情報・特定健康診査等情報データ」
取組１ 取組２	特定保健指導実施率	２３．１％ （令和３年度）	増やす （４５％以上）	２５．１％ （令和４年度）	A	厚生労働省「レセプト情報・特定健康診査等情報データ」
取組３	糖尿病地域連携の登録医療機関の医療機関数	病院 １７２施設 診療所 ２，０３３施設 歯科診療所 １，６２７施設 （令和４年度末）	増やす	病院１７１施設 診療所 ２，０１６施設 歯科診療所１，５７０施設 （令和６年度末）	C	東京都「糖尿病地域連携の登録医療機関」

○ 事業実績

東京都保健医療計画(令和6年3月改定)の内容		事業名	事業概要	令和6年度実績	令和6年度計画 (予算規模等)	国庫負担
課題	取組					
＜課題１＞ 糖尿病・メタボリックシンドロームに関する普及啓発	(取組１) 糖尿病・メタボリックシンドロームに関するより効果的な普及啓発の実施	○糖尿病予防対策事業	○糖尿病やメタボリックシンドロームにならないための、負担感のない生活習慣改善の工夫、定期的な健康受診や必要に応じ早期に医療機関を受診し、治療を継続することの重要性について、都民の理解を一層深めていくため、普及啓発を実施する。	○糖尿病への正しい理解と予防の実践を促すための予防啓発資材を作成し、区市町村や保険者等を通じた周知や、ホームページでの公開により、都民の糖尿病予防の取組を促進した。 ○World Diabetes Day（世界糖尿病デー）（１１月１４日）に合わせ、都庁舎や東京ゲートブリッジ等の都民の注目を集めやすい都立施設外（８か所）をブルーにライトアップし、糖尿病予防の機運醸成を図った。	○糖尿病予防対策事業（一般会計） 2, 2 8 7 千円	－
		○糖尿病医療連携推進事業		○糖尿病医療連携圏域別検討会（１１医療圏）において普及啓発を実施した。（糖尿病に関する正しい知識、治療継続の重要性等について、都民向け講演会等を開催）	○糖尿病医療連携推進事業 3 1, 8 6 2 千円	○
＜課題２＞ 糖尿病の発症・重症化予防	(取組２) 糖尿病の発症・重症化予防に向けた取組の推進	○健康づくり事業推進指導者育成研修	○地域や職域において健康づくりの取組を担う人材に対し、健康づくり施策や健康づくり事業の実践に必要な知識及び技術を付与することにより、指導的役割を担う人材の育成を図る。	○年間２５講座を実施し、糖尿病に関するテーマは１講座実施。１２５名の参加が得られた。	○健康づくり事業推進指導者育成研修 1 4, 1 5 1 千円	－
		○糖尿病性腎症重症化予防事業 ○糖尿病医療連携推進事業	○都、東京都医師会及び東京都糖尿病対策会議が策定した「東京都糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に沿って、区市町村国民健康保険と地区医師会・かかりつけ医等との連携強化を図るとともに、糖尿病対策に係る会議等において情報提供や共有を行い、区市町村国民健康保険による効果的な取組を推進する。	○糖尿病性腎症重症化予防事業について、対象者抽出基準や事業実施方法等、区市町村国保による取組状況を把握・整理するとともに、参考となる取組事例をとりまとめ、横展開した。 ○国の「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の改定を踏まえた「東京都糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の改定に向けて、区市町村国保等への意見照会を行った。	○糖尿病医療連携推進事業 3 2, 7 6 9 千円	○
＜課題３＞ 予防から治療までの医療連携	(取組３) 予防から治療までの医療連携の強化	○糖尿病医療連携推進事業	○予防から初期・安定期治療、専門治療、急性増悪時治療、慢性合併症治療等の各医療機能を切れ目なく提供できる体制を確立するため、「かかりつけ医」、「専門医」及び「かかりつけ眼科医・歯科医等」の相互連携による「糖尿病地域連携の登録医療機関」の取組を推進する。	○東京都糖尿病医療連携協議会（１回） ○糖尿病医療連携圏域別検討会（１１医療圏）において、地域の実情に合った糖尿病医療連携体制を推進するための取組について検討・実施した。 ○「糖尿病地域連携の登録医療機関」の登録・運用 ・登録医療機関数 3, 7 5 7 施設（令和６年度末）	○糖尿病医療連携推進事業 3 2, 7 6 9 千円	○

<p><課題４> 地域連携に係る実効性のある取組</p>	<p>（取組４） 糖尿病地域連携体制の強化</p>	<p>○糖尿病医療連携推進事業</p>	<p>○都が作成した医療連携ツールの積極的な活用を促すなど、医療機関相互で、診療情報や方針の共有化など実効性のある地域連携を推進する。</p> <p>○都における糖尿病医療連携体制や、職種相互の役割への理解を促進するため、各圏域別検討会において、糖尿病に関わる多様な職種を対象とした研修会や連絡会を開催する。</p>	<p>○糖尿病医療連携に資する連携ツールを都ホームページに掲載し、普及啓発の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関リスト（「医療情報ネット」の活用） ・（標準的な）診療ガイドライン ・医療連携の紹介・逆紹介のポイント ・診療情報提供書の標準様式 <p>○診療情報提供書（標準様式・平成31年3月改定版）の啓発を行い、病診連携や診療科間連携等の地域医療連携を推進するとともに、活用状況を把握</p> <p>○糖尿病医療連携圏域別検討会（１１医療圏）において、糖尿病に関わる多様な職種を対象とした研修会等を実施した。</p>	<p>○糖尿病医療連携推進事業 32,769千円</p>	<p>○</p>
--	-------------------------------	---------------------	--	--	----------------------------------	----------